

2年

2年生は、これまで上級生に助けてもらっていましたが、進級し、自分たちが1年生を助けていく番となりました。

4、5月だけでも、1年生を支えようとする頼もしい姿がたくさん見られました。

4月24日（金）に行われた入学おめでとう集会では、昨年、生活科で育てたあさがおの種を1年生にプレゼントしました。教室に帰って来た子供たち



が、「1年生がうれしそうよかった」

「もっと1年生と仲よくなりたい」と話す姿が印象的でした。運動会の目当てを伝え合った際にも、「1年生のお手本になるように、かっこよくダンスや玉入れをしたい」という意見が聴かれたり、朝に昇降口で泣いている1年生の手を引いて教室まで送り届ける姿が見られたりするなど、お兄さんお姉さんとして立派に成長しています。



3年

3年生になり、2か月が経過しました。初めてのクラス替えを経験し、新しい友達との出会いがたくさんありました。

始めは少し緊張した様子も見られましたが、今では笑顔で声を掛け合う姿が見られ、学年全体が明るい雰囲気になっています。

今年度の学年目標は、失敗を恐れず新しいことに挑戦してほしいという願いを込め、「一歩チャレンジ」としました。子供たちはこの目標の通り、3年生から始まった新しい学習に前向きに取り組んでいます。理科や社会科では



新鮮な驚きや発見を楽しみ、書写の毛筆の学習では背筋を伸ばして集中して筆を走らせています。外国語活動では、ALTの先生とリズムに乗って楽しく英語で表現する姿が見られます。また、総合的な学習の時間には、自分たちが住む富山市のよいところについて、溢れる魅力を再発見すべく、主体的に探究活動を進めています。

これからも、子供たちが小さな「一歩」を積み重ねながら大きく成長していく姿を、温かく見守っていきたいと思います。



5年

5年生から、新しく家庭科の学習が始まりました。子供たちは「調理」を学ぶことをとても楽しみに、意欲的に取り組んでいます。初めての実習では、お湯を沸かして「緑茶」をいれました。班の仲間と手順をしっかりと確認し、慎重に急須から湯呑みへとお茶を注いでいました。「最後の一滴まで同じ濃さになるように、交代で回し入れよう」と声を掛け合い、丁寧にいれたお茶を味わいながら、満足そうな表情を浮かべていました。その経験を活かし、先日行った「小松菜のおひたし」と「ゆでいも」の実習では、さらに頼もしい姿が見られました。

食材によって「お湯からゆでるのか、水からゆでるのか」という違いを、事前の学習をもとに自分たちで判断し、調理を進めていました。班の中で、「私は小松菜を洗うから、じゃがいもの皮むきをお願い」「まだ硬そうだからもう少しゆでよう」など、互いに声を掛け合って役割を分担し、手際よく動く姿が多く見られました。自分たちの手で作り上げた料理を、嬉しそうに味わう姿が印象的でした。初めての挑戦を通して、高学年らしさが増した5年生。今後のさらなる成長が本当に楽しみです。

